

令 地	和 域	5 年 度	2 回	上 小	医 療	調 整	会	議	資料 1-1
令	和	5	年	1	2	月	2	1	

地域医療構想における 長野県の対応方針について

地域医療構想における各医療機関の対応方針について

- 今年度末までに、一般・療養病床を持つ公立・公的・民間病院及び有床診療所において、2025年における対応方針の策定、検証・見直しが求められている。
- 昨年度実施した将来意向調査の回答内容を基に、対応方針の共通様式を作成し、各圏域の地域医療構想調整会議の場において各医療機関から説明の上、協議を行う。

■ 対応方針

- 対応方針の様式は、県から示します。
- 公立病院は、公立病院経営強化プランを対応方針として取扱います。

【対応方針(様式)の内容】

1. 自院の現状

- (1) 許可病床数(令和4年7月1日時点)
- (2) 医師・看護職員の職員数(令和4年7月1日時点)
- (3) 診療科目(令和4年7月1日時点)
- (4) 自院の特徴と課題

2. 今後の方針

- (1) 自院の今後の方針(今後の圏域における役割等)
- (2) 2025年における非稼働病棟への対応
- (3) 2025年・2030年における許可病床数の予定

■ 対応方針の取扱い

今後開催する調整会議の資料として活用し、会議後に県ホームページ上で公開します。

令和5年度 各医療機関の対応方針の説明について

【病院】

- 自院の対応方針を作成し、調整会議の場で、その内容についてご説明ください。
(調整会議に参加していない病院にも出席(対面orオンライン)及び説明をお願いします。)
- 調整会議の日程等は、保健福祉事務所よりご連絡します。

【有床診療所】

- 有床診療所の対応方針については、協議済みとなっています。
(各圏域の第1回調整会議において、県から各診療所の対応方針を説明)

【共通事項】

- 対応方針は、県が示す様式を用いて作成し、説明資料としてください。
※ 公立病院(経営強化プラン策定対象)は、経営強化プラン概要資料の使用も可能です。
- 許可病床数の増床を伴う部分については、増床計画の必要性等が整理された段階で、増床の可否も含めて、別途調整会議へ諮ることを前提とし、対応方針の協議を行うものとする。

対応方針 — 今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針 1/2 — (上小医療圏)

○ 各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。 ※「信州上田医療センター」は対応方針を策定中のため、将来意向調査時点での内容。

【凡例：今後の圏域における役割の意向】

- ①：重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関
- ②：救急患者の初期対応や比較的軽微な患者に対する急性期医療を担う医療機関
- ③：在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入機能を担う地域包括ケアの拠点となる医療機関
- ④：回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関
- ⑤：長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関
- ⑥：特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科等）
- ⑦：かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関

医療機関名	病診区分	今後の圏域における役割の意向(◎は主たる役割)							具体的な今後の方針
		① 高度・専門	② 軽症急性期	③ 地ケア	④ 回リハ	⑤ 長期療養	⑥ 特定診療	⑦ かかりつけ	
信州上田医療センター ※策定中※	病院	◎	○				○		<ul style="list-style-type: none"> ・上田市立産婦人科病院の閉院に伴い、ハイリスク分娩を中心として医療圏内の分娩機能(27床分)が当院に集約される。分娩件数の増加に対応するため、分娩室を増やすため産科病棟の改修を予定している(2023年度)。 ・新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、急性期機能の拡充のため、休床病棟(50床)、新型コロナウイルス感染症即応病床稼働のため休床となっている病床(24床)およびその他休床病床を順次一般病床(急性期)として再稼働する予定(2023年度～)。
厚生連鹿教湯病院	病院		○	○	◎	○			<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター三才山病院との再編統合(機能集約) ・地域多機能型病院としての医療・障がい・介護まで一貫した地域包括的ケア体制の構築 ・疾患別リハ・先進的リハ・心大血管リハ等の特色あるリハビリテーションの提供 ・筋ジストロフィー・ALS・重症心身障がい者等への医療的ケアの提供
厚生連三才山病院	病院								鹿教湯病院と再編統合(三才山病院は廃止)
丸子中央病院	病院		◎	○		○	○	○	救急初期対応、特定の診療(透析)、かかりつけ病院などの機能(総括的には高齢者医療)の充実を目指しています。
国民健康保険依田窪病院	病院	○	◎	○	○		○	○	当院の強みである整形外科領域の入院・手術に引き続き注力するとともに、地域の救急患者の受け入れを行いながら、拡充した地域包括ケア病棟を中心に、在宅患者の憎悪時の受け入れや認知症ケア、リハビリの充実など、地域のニーズに即した医療機能を提供していく。
安藤病院	病院	○	◎	○	○	○	○	○	<p>自院の特徴の中で記したこと(※)を継続していきます。</p> <p>※院内検査室、画像遠隔読影システムを運用しており、救急車の受け入れおよび輪番担当病院として地域の救急の一翼を担っています。地域の高齢化が進む中で精神科と身体診療科が協力して認知症合併身疾患の治療及び高度治療が落ち着いた方の加療及び介護調整までを、医師・薬剤師・看護師・介護職・PT・OT・STがチームとなって医療提供体制を構築しています。療養病棟への積極的な受入を行っており急性期一段落した方、継続的な医療を必要とする方を受け入れる体制を整えています。訪問リハビリテーションチームが退院後の自宅等でのADL維持に当たっています。また、外部医療機関からの画像検査委託を積極的に受け入れる体制を整えています。</p>

対応方針 — 今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針 2/2 — (上小医療圏)

○ 各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。

医療機関名	病診区分	今後の圏域における役割の意向(◎は主たる役割)							具体的な今後の方針
		① 高度・専門	② 軽症急性期	③ 地ケア	④ 回りハ	⑤ 長期療養	⑥ 特定診療	⑦ かかりつけ	
柳澤病院	病院		○	○		◎		○	地域の医療を担う当院の役割、その方向性に高齢者が多く輩出される上田市においてのズレは生じているとは考え難い。よって現状での計画を推進する。
小林脳神経外科・神経内科病院	病院	○	◎						現時点では医師、看護師の確保が地域の脳血管障害に対して必要であります。特に脳神経外科では地域の慢性期や回復期、包括病棟と密に連携を取りたいと思います。
上田病院	病院		◎	○		○		○	・引き続き、軽症～中等症の入院を要する患者への救急医療や、長期療養が必要な慢性期患者の受入等の機能を発揮していきたい。
東御市民病院	病院		○	◎	○			○	1(4)②課題を解決しながら、地域包括ケアシステムの中核として、東御市立みまき温泉診療所と連携して在宅療養患者を多面的に支援する体制の構築を進めていく。
塩田病院	病院		○	◎	○			○	・診療科については現状維持。 ・在宅療養支援病院並びにかかりつけ医機能を有する病院として在宅医療に注力する。 ・地域包括ケア病床と一般病床を効率よく活用し、地域の患者さまを積極的に受け入れる。 ・入院中のリハビリテーションを積極的にに行い、可能な限り在宅につなげる。
整形外科上田花園病院	病院		○	◎					整形外科手術を中心とした亜急性期治療を続ける
上田市立産婦人科病院	病院								当院として医師確保が困難であること、また、地域内の出生数減少に対応するため、令和6年3月までに閉院することを市として決定している。
上田腎臓クリニック	診療所		○	○			◎	○	常勤医師を増やして、当院で可能な範囲で最新、最良の医療を患者に届けていきたい。又、地域のかかりつけ医としての機能も高めたい。
岸医院	診療所		○	◎	○	○		○	引き続き、現状の機能を担っていく。
川西医院	診療所		○	○	○			◎	在宅医療にも力を入れていく予定
祢津診療所	診療所		○	○	○	○	○	◎	・外来、病棟の建て替え(2025年頃予定)を行いつつ、組織の強化、スタッフの育成を更におし進めて行く。 ・急性期、慢性期の患者様の初期対応を行い、他の医療機関との連携を図り、地域密着型の機能を維持していきたい。 ・急性期病院の後方支援病床としての機能を維持していきたい。 ・当院が従来より力を入れている在宅医療は、更に多方面で強化できるように努力していきたい。
東御記念セントラルクリニック	診療所			◎				○	現状で継続
角田産婦人科医院	診療所		○				◎	○	産婦人科として妊婦健診、分娩、産褥期の管理を行う。 かかりつけ医として婦人科疾患の診察、検査、治療、早期発見を行っていく。
池田クリニック	診療所							◎	コロナ禍を経験し、これまで以上に病診連携が不可欠と痛感した。今後は更に地域の病院と連携しつつ、かかりつけ医機能に重点をおく。
あおやぎ眼科	診療所	○					◎		眼科の分野において、東信地区での中核的医療機関として役割を継続していく。

対応方針 — 機能別病床数の意向 — (上小医療圏: 医療機関別)

- 2025年までに、鹿教湯病院が三才山病院と統合(三才山病院は廃止)、国保依田窪病院が急性期88床を回復期に転換、上田市立産婦人科病院が廃院、川西医院が休棟中の病床19床を急性期として稼働することが見込まれている。
 - 2025年から2030年までの間には、いずれの医療機関でも機能転換等は見込まれない見込み。
- ※「信州上田医療センター」は対応方針を策定中のため、将来意向調査時点での内容。

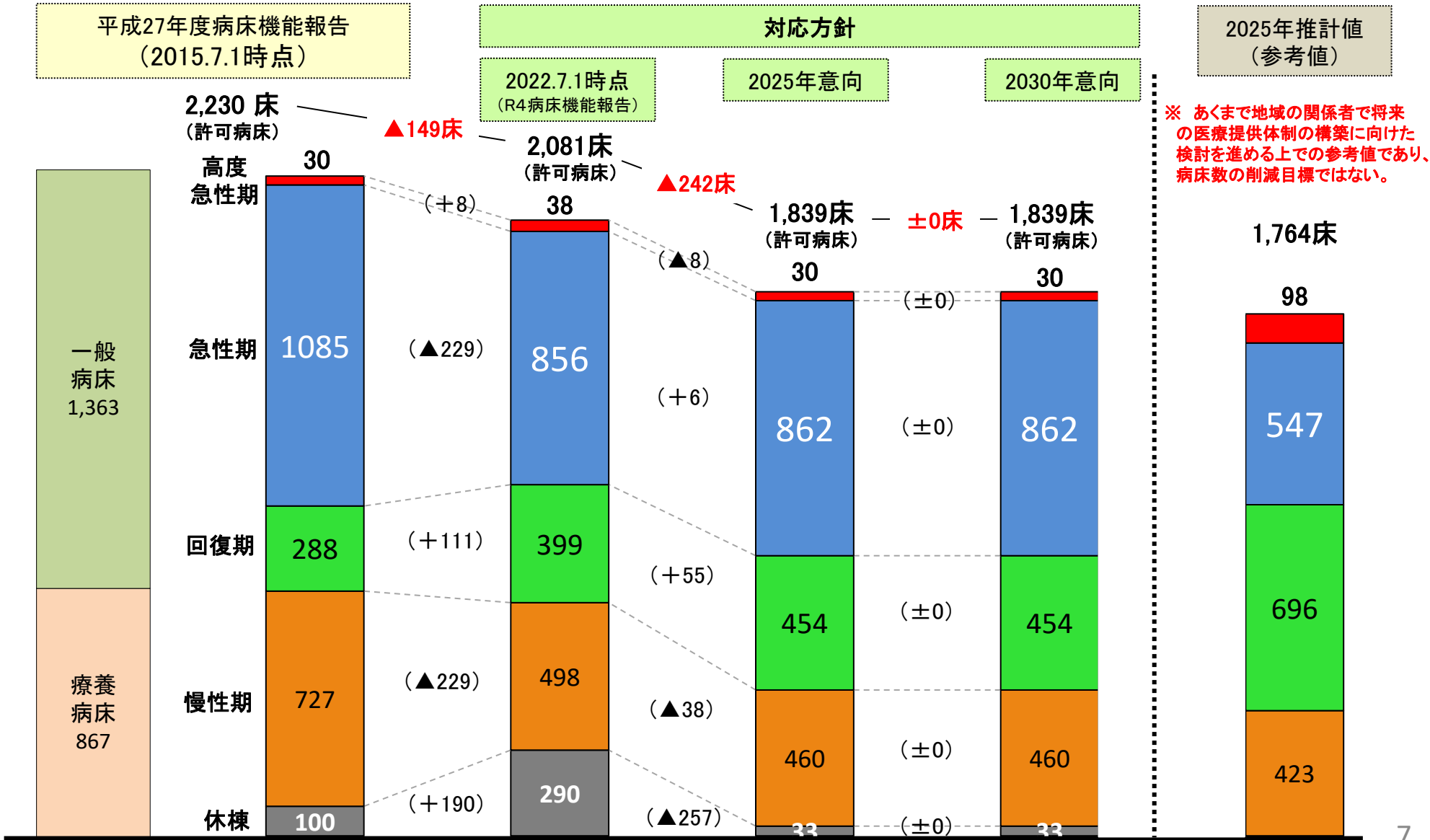
【凡例】 A:2022年7月1日時点の機能別病床数 B:2025年における機能別病床数の意向 C:2030年における機能別病床数の意向

病院名	高度急性期				急性期				回復期				慢性期				休棟				介護施設等への転換				病床数計										
	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B					
信州上田医療センター ※策定中※	38	30	30	-8	0	284	386	386	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0	0	-94	0	0	0	0	0	0	416	416	416	0	0
鹿教湯病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	230	231	231	1	0	139	244	244	105	0	47	0	0	-47	0	0	0	0	0	0	416	475	475	59	0
三才山病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	-34	0	143	0	0	-143	0	60	0	0	-60	0	0	0	0	0	0	237	0	0	-237	0
丸子中央病院	0	0	0	0	0	149	149	149	0	0	0	0	0	0	0	50	50	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	199	199	199	0	0
国民健康保険依田窪病院	0	0	0	0	0	131	43	43	-88	0	0	88	88	88	0	0	0	0	0	0	9	9	9	0	0	0	0	0	0	0	140	140	140	0	0
安藤病院	0	0	0	0	0	47	47	47	0	0	0	0	0	0	0	44	44	44	0	0	24	24	24	0	0	0	0	0	0	0	115	115	115	0	0
柳澤病院	0	0	0	0	0	33	33	33	0	0	0	0	0	0	0	65	65	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	98	98	0	0
小林脳神経外科・神経内科病院	0	0	0	0	0	51	51	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	-37	0	0	0	0	0	0	88	51	51	-37	0
上田病院	0	0	0	0	0	28	28	28	0	0	7	7	7	0	0	37	37	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72	72	72	0	0
東御市民病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	60	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	60	60	0	0
塩田病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	49	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	49	49	0	0
整形外科上田花園病院	0	0	0	0	0	36	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	36	36	0	0
上田市立産婦人科病院	0	0	0	0	0	27	0	0	-27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	-27	0
病院計	38	30	30	-8	0	786	773	773	-13	0	380	435	435	55	0	478	440	440	-38	0	271	33	33	-238	0	0	0	0	0	0	1953	1711	1711	-242	0

有床診療所名	高度急性期				急性期				回復期				慢性期				休棟				介護施設等への転換				病床数計															
	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B										
上田腎臓クリニック	0	0	0	0	0	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0
岸医院	0	0	0	0	0	9	9	9	0	0	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0
川西医院	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0
柵津診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	9	0	0	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0
東御記念セントラルクリニック	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0
角田産婦人科医院	0	0	0	0	0	14	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	14	0	0
池田クリニック	0	0	0	0	0	7	7	7	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13	13	0	0
あおやぎ眼科	0	0	0	0	0	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6	0	0
有床診療所計	0	0	0	0	0	70	89	89	19	0	19	19	19	0	0	20	20	20	0	0	19	0	0	-19	0	0	0	0	0	0	128	128	128	0	0					
総計	38	30	30	-8	0	856	862	862	6	0	399	454	454	55	0	498	460	460	-38	0	290	33	33	-257	0	0	0	0	0	0	2081	1839	1839	-242	0					

対応方針 — 機能別病床数の意向 — (上小医療圏)

- 2025年の意向を集計した結果、2022年7月1日時点と比較すると、高度急性期・慢性期・休棟が減少、急性期・回復期が増加し、総病床数は242床減少する見込み。
- 2030年の意向を集計した結果、2025年の意向と比較すると、機能別病床数、総病床数いずれも変わらない見込み。



本県における今後の地域医療構想の進め方 スケジュール(案)

	令和5年度			令和6年度			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
圏域別調整会議	第1回	第2回 <small>必要に応じて開催</small>	第3回	<small>必要に応じて開催</small>	第1回	<small>必要に応じて開催</small>	第2回
	1. 各医療機関の対応方針の策定や検証・見直し			2. 構想区域全体の2025年における医療提供体制の検証(圏域ごとの課題について議論) <small>※昨年度より変更</small>			
医療情勢等連絡会	必要に応じて随時開催						
県単位調整会議			第1回				第1回

■ 圏域別調整会議の議題(案) ※地域医療構想に関する議題のみ

【令和5年度第1回】

- 各医療機関の対応方針について(病院・有床診)

【令和5年度第2回】

- 各医療機関の対応方針について(病院・有床診)

【令和5年度第3回】

- 各医療機関の対応方針について(病院)
- 構想区域全体の医療提供体制について(圏域ごとの課題設定)

【令和6年度～】

- 構想区域全体の医療提供体制の検証について等

★ スケジュール(案)の変更点等<構想区域全体の検証>

- 圏域ごとの課題を議論することを構想区域全体の検証とみなす。
- 令和5年度までとしていたものを、令和5年度から令和6年度にかけて議論を行う。